「世界のリチウム電池用正極材料市場 2028年の世界市場：種類別（LCO、NCM、LMO、LFP、NCA）、用途別（自動車、航空宇宙、家電）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年7月15日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界のリチウム電池用正極材料市場 2028年の世界市場」調査資料の販売を2022年7月15日 に開始いたしました。リチウム電池用正極材料の市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界のリチウム電池用正極材料市場 2028年
■英文タイトル：Global Positive Electrode Materials for Li-Batteries Market Insights and Forecast to 2028
■発刊日：2022年6月20日
■出版社：QYResearch（QYリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、世界のリチウム電池用正極材料の市場規模は2022年にUS$xxxと推定され、調査期間中のCAGRはxxx％で、2028年までに再調整された規模はUS$xxxになると予測されています。この医療危機による経済変化を十分に考慮すると、2021年にリチウム電池用正極材料の世界市場のxxx％を占める「LCO」タイプは、2028年までにUS$xxxの規模になり、パンデミック後の修正xxx％CAGRで成長すると予測されています。一方、「自動車」セグメントは、この予測期間を通じてxxx％のCAGRに変更されます。

中国のリチウム電池用正極材料の市場規模は2021年にUS$xxxと分析されており、米国とヨーロッパのリチウム電池用正極材料市場規模はそれぞれUS$xxxとUS$xxxです。米国の割合は2021年にxxx％であり、中国とヨーロッパはそれぞれxxx％とxxx％です。中国の割合は2028年にxxx％に達し、対象期間を通じてxxx％のCAGRを記録すると予測されています。日本、韓国、東南アジアはアジアで注目市場であり、今後6年間のCAGRはそれぞれxxx％、xxx％、xxx％になる見通しです。ヨーロッパのリチウム電池用正極材料市場については、ドイツは2028年までにUS$xxxに達すると予測されており、予測期間中のCAGRはxxx％になる見通しです。

リチウム電池用正極材料のグローバル主要メーカーには、Nichia （JPN）、Todakogyo （JPN）、Mitsubishi （JPN）、L & F、ShanShan Co. （CHN）、Hunan Rui Xiang New Material （CHN）、QianYun （CHN）、Beijing Easpring Material Technology、ShenZhen ZhenHua （CHN）、Xiamen Tungsten （CHN）、Citic Guoan MGL （CHN）、Ningbo Jinhe New Materials （CHN）などがあります。2021年、世界のトップ5プレイヤーは売上ベースで約xxx％の市場シェアを占めています。

リチウム電池用正極材料市場は、種類と用途によって区分されます。世界のリチウム電池用正極材料市場のプレーヤー、利害関係者、およびその他の参加者は、当レポートを有益なリソースとして使用することで優位に立つことができます。セグメント分析は、2017年～2028年期間のタイプ別および用途別の販売量、売上、予測に焦点を当てています。

【種類別セグメント】
LCO、NCM、LMO、LFP、NCA

【用途別セグメント】
自動車、航空宇宙、家電、その他

【掲載地域】
北米：アメリカ、カナダ
ヨーロッパ：ドイツ、フランス、イギリス、イタリア、ロシア
アジア太平洋：日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、台湾、インドネシア、タイ、マレーシア
中南米：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン
中東・アフリカ：トルコ、サウジアラビア、UAE

【目次（一部）】

・調査の範囲
- リチウム電池用正極材料製品概要
- 種類別市場（LCO、NCM、LMO、LFP、NCA）
- 用途別市場（自動車、航空宇宙、家電、その他）
- 調査の目的
・エグゼクティブサマリー
- 世界のリチウム電池用正極材料販売量予測2017-2028
- 世界のリチウム電池用正極材料売上予測2017-2028
- リチウム電池用正極材料の地域別販売量
- リチウム電池用正極材料の地域別売上
- 北米市場
- ヨーロッパ市場

- アジア太平洋市場
- 中南米市場
- 中東・アフリカ市場
・メーカーの競争状況
- 主要メーカー別リチウム電池用正極材料販売量
- 主要メーカー別リチウム電池用正極材料売上
- 主要メーカー別リチウム電池用正極材料価格
- 競争状況の分析
- 企業M&A動向
・種類別市場規模（LCO、NCM、LMO、LFP、NCA）
- リチウム電池用正極材料の種類別販売量
- リチウム電池用正極材料の種類別売上
- リチウム電池用正極材料の種類別価格
・用途別市場規模（自動車、航空宇宙、家電、その他）
- リチウム電池用正極材料の用途別販売量
- リチウム電池用正極材料の用途別売上
- リチウム電池用正極材料の用途別価格
・北米市場
- 北米のリチウム電池用正極材料市場規模（種類別、用途別）
- 主要国別のリチウム電池用正極材料市場規模（アメリカ、カナダ）
・ヨーロッパ市場
- ヨーロッパのリチウム電池用正極材料市場規模（種類別、用途別）
-
主要国別のリチウム電池用正極材料市場規模（ドイツ、フランス、イギリス、イタリア、ロシア）
・アジア太平洋市場
- アジア太平洋のリチウム電池用正極材料市場規模（種類別、用途別）
-
主要国別のリチウム電池用正極材料市場規模（日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、台湾、インドネシア、タイ、マレーシア）
・中南米市場
- 中南米のリチウム電池用正極材料市場規模（種類別、用途別）
- 主要国別のリチウム電池用正極材料市場規模（メキシコ、ブラジル、アルゼンチン）
・中東・アフリカ市場
- 中東・アフリカのリチウム電池用正極材料市場規模（種類別、用途別）
- 主要国別のリチウム電池用正極材料市場規模（トルコ、サウジアラビア）
・企業情報
Nichia （JPN）、Todakogyo （JPN）、Mitsubishi （JPN）、L & F、ShanShan Co. （CHN）、Hunan Rui Xiang New Material （CHN）、QianYun （CHN）、Beijing Easpring Material Technology、ShenZhen ZhenHua （CHN）、Xiamen Tungsten （CHN）、Citic Guoan MGL （CHN）、Ningbo Jinhe New Materials （CHN）
・産業チェーン及び販売チャネル分析
- リチウム電池用正極材料の産業チェーン分析
- リチウム電池用正極材料の原材料
- リチウム電池用正極材料の生産プロセス
- リチウム電池用正極材料の販売及びマーケティング
- リチウム電池用正極材料の主要顧客
・マーケットドライバー、機会、課題、リスク要因分析

- リチウム電池用正極材料の産業動向
- リチウム電池用正極材料のマーケットドライバー
- リチウム電池用正極材料の課題
- リチウム電池用正極材料の阻害要因
・主な調査結果

■レポートの詳細内容・お申込みはこちら
https://c3.marketresearch.jp/qy2203b07008-global-positive-electrode-materials-libatteries/

■調査会社QYResearch社（QYリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/qyresearch/
主な事業内容：自主企画資料の販売（年間数百件以上）、受託調査サービス提供
株式会社マーケットリサーチセンターはQYResearchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.jp
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105-0004 東京都港区新橋1-18-21
TEL：03-6161-6097　FAX：03-6869-4797

■本件に関するお問い合わせ先
株式会社マーケットリサーチセンター
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com